学校番号	４０９

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作品ごとに到達目標と観点を提示します。それを基に自分の主題を生成し、自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の行動で制作してください。
・「自分とは何か」という問いを深め、表現することで自分をより深く理解していきましょう。
・「他者と自分の関わり合い」を意識し、表現することで他者とのつながりを認識しましょう。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやレポート、作品で評価します。課題作品の提出期限を守りましょう。
・美術の授業では、感性を高め、表現力と鑑賞の能力を伸ばし、美術が生徒みなさんの生涯にわたり、心や生活を豊かにしていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	授業態度の観察 ワークシート 作品	制作状況の観察 ワークシート 作品	制作状況の観察 ワークシート 作品	鑑賞態度の観察 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	セル画「近景と遠景」	セル画という近景と遠景をとおして奥行きのできる表現方法で、自分の世界を見つめる。 遠景の制作(画用紙) 近景の制作(セル画)	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○		a:感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、近景と遠景の２つの場面ができるセル画の特性を生かして表現することに関心をもち、主体的に主題を生成し、表現効果を考えながら工夫して構想を練ろうとしている。 b:主題を表現するためにセル画の視覚的要素について理解し、表現効果を考え、工夫して表現の構想を練っている。 c:セル画の特性を理解し、意図に応じて近景と遠景の効果を生かして工夫して表現している。	授業態度 制作状況 作品

1学期	飛び出す絵画パンフレット	パンフレット形式の絵画の表紙があり、開くと背景の上に平行に色々なものが浮き上がる。 パンフレットデザインの鑑賞 アイディアワークシート 制作	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ 	a: 表現パンフレットの目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心をもち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造詣要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。鑑賞生活の中にあるパンフレットのよさや美しさなどに関心をもち、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解しようとしている。 b: パンフレットの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさの調和を考え、生活の中などに課題を発見し、主題を生成している。 c:絵画の部分では効果的な表現方法を創意工夫し、パンフレットの目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、特性や効果を生かして表現している。 d: 生活の中にあるパンフレットのよさや美しさなどの特徴を分析するなどして、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて理解している。	鑑賞態度 授業態度 制作状況 ワークシート 作品

2学期	詩画集(ドライポイント)	ドライポイントを使って多色刷りで詩画集を作る。 版画、詩集の鑑賞 アイディアワークシート 制作 完成作品の鑑賞	 ○ ○	 ○	 ○	 ○ ○	a:「詩画集」というテーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心をもち、詩の言葉と言葉に添える絵の関連性も考え、主体的に主題を生成して構想を練り、主題を追及して表現しようとしている。 b:「詩画集」というテーマを基に、感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、ドライポイントや詩集の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:ドライポイントの技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 d:ほかの生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	鑑賞態度 レポート 授業態度 制作状況 ワークシート 作品
2学期	イメージの缶詰	半径8．4㎝高さ20㎝の円柱の箱を作り自分のイメージの中にしかない缶詰を作る アイディアワークシート 制作	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○		a:感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから自分のイメージの中にしかない世界を缶詰に詰めることをテーマに、主体的に主題を追求して表現しようとしている。 b:自己の内面を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 c: 半径８．４㎝高さ２０㎝の円柱の箱の中に、目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	授業態度 制作状況 ワークシート 作品

3学期	半立体画	―△―という形に繰り返し紙を折る。△の右左にそれぞれ違う絵を描き、間の―もまた違った絵を描く。歩きながら作品をみるとみる角度によって、作品が違って見える。(キネティックアート)	○	○	○		a:角度によって作品が違って見える表現形式の特性を生かして、主体的に主題を生成し、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ろうとしている。 b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: ―△―という形に繰り返し紙を折り、△の右左にそれぞれ違う絵を描き、間の―もまた違った絵を描く、という表現形式の特性を生かし、主題を追及して表現している。	授業態度 制作状況 作品

※　表中の観点について　a:美術への:関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。